### 経済産業省補助事業

# LPガス災害バルク 導入事例集

## LPガスで防災対策&BCP強化

自治体庁舎/公民館/学校/病院/福祉施設/商業施設



# 災害バルク等のLPガス設備で 災害時に備えたインフラづくり

POINT 1

### LPガスは個別供給だから災害時にも復旧が早い

LPガスは容器で個別供給する分散型エネルギーです。ガス供給がストップした場合も、配管等の調査・ 点検が終了したお客様からすぐにガスを使うことができます。

都市ガスは配管による集団供給なので、区域内の埋設配管点検・調査が終了しないと使用できません。 そのため、都市ガスは復旧に時間がかかります。



### 停電時の電源確保にLPガスが役立ちます

● LPガス発電機を備えることで、停電時でも様々な電気機器が使用できます。

POINT 3



非常用発電機					最大運転可能時間(h)*		
	定格出力kVA	Hz	消費量Nm3/h	kg/h	0.3tバルク	0.5tバルク	1tバルク
単相	8	50	1.3	2.6	115	192	385
	9.9	60	1.6	3.2	94	156	313

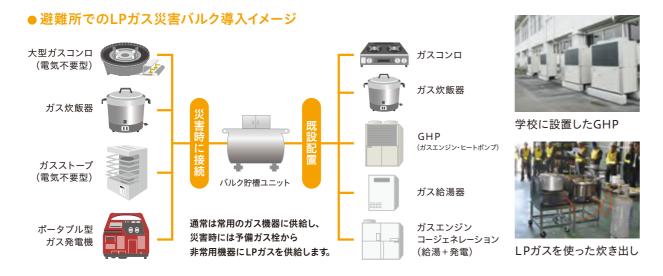
1t型バルク貯槽で300時間以上電源を確保

- \*連続運転の場合出力は8割程度となります。
- \*連続運転する場合はエンジンオイルの消費量も考慮してください。 \*ガス発生量、その他稼働条件によって連続運転時間は異なります。
- \*LPガス量は満タン時の前提。

POINT 2

### LPガスが被災者・避難者の命をつなげます

**復旧が早いLPガスが被災者・避難者の命をつなげます**。系統電源を使うことなく、非常用発電機や炊き出し設備、仮設風呂(シャワー)、冷暖房などの様々なLPガス機器を利用でき、避難生活を支えます。



## 公共施設、病院・介護施設等で LPガスによる災害対策が注目されています

POINT 4

災害時において、施設のBCP(事業継続計画)対策に有効なLPガス設備



POINT 5

### 政府の動き

- ●災害時に備えて、燃料供給側の強靭化対策が進められていますが、被災直後の交通網等の混乱を想定すると、電力・燃料供給網が復旧や救援物資が届くまでの間をどのように乗り切るかが課題となります。
- ●特に、社会的重要インフラと言われる政府庁舎や自治体庁舎、通信、放送、金融、病院、学校、避難所、大型商業施設等の施設では、停電した場合でも非常用電源を稼働させて業務を継続し、炊き出し等でも国民生活を支えられるよう、燃料備蓄を含めて、個々の状況に応じた準備を行うことが必要です。
- ●政府としても、その重要性を「第6次エネルギー基本計画(令和3年10月閣議決定)」においては、「最後の砦」として、平時のみならず緊急時のエネルギー供給に貢献する重要なエネルギー源と記述し、「国土強靭化基本計画(平成30年12月閣議決定)」においても需要家側での燃料備蓄の対応を求めています。

POINT 6

### 補助事業の概要(令和3年度)

「令和2年度第3次補正予算・令和3年度 災害時に備えた社会的重要インフラ への自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金(災害バルク等の導入に係るもの)|

#### 【補助事業の概要】

#### ◆補助対象施設

- ①災害等発生時に避難場所まで避難することが困難な者が生じる施設・・・医療施設(入院施設があり、人工透析クリニックを含む、ただし、このうち災害拠点病院、災害拠点精神科病院、へき地医療拠点病院、へき地診療所、特定機能病院、地域医療支援病院、救命救急センター及び周産期母子医療センターを除く)、福祉施設(老人ホーム等、障害者施設、並びに保育園等含む)
- ②公的避難所(地方公共団体が災害時に避難所として指定した施設)・・・自治体庁舎、公立学校、公民館、体育館等の公共施設 ③一時避難所となり得るような施設※・・・民間等が所有する工場、事業所、商業施設、私立学校、旅館、マンション等の施設 ※地方公共団体が一時避難所として認知していることが条件です。

#### ◆補助対象設備

LPガス災害バルク貯槽またはシリンダー容器、LPガス発電機(コジェネレーションを含む)、空調機器(GHP等)、燃焼機器(コジェネレーション、炊き出しセット、コンロ、炊飯器、給湯器(ボイラー含む)、ガスストーブ、ファンヒーター)、簡易スタンド※上記の設置する機器は、ライフライン(電気、水道等)が途絶した場合でも稼働する仕様であることが条件です。

#### ◆補助対象経費

LPガス災害バルク等の機器の設備費と設置工事費(「設備費」とはLPガス災害バルク等の機器購入費。「設置工事費」とは LPガス災害バルク等の機器の設置工事費等)

#### ◆補助率

- ①避難困難者施設(医療施設・福祉施設等)は1/2以内(ただし、中小企業者が運営する場合2/3以内)
- ②公的避難所は1/2以内
- ③民間の一次避難所は1/2以内

#### ◆補助金額

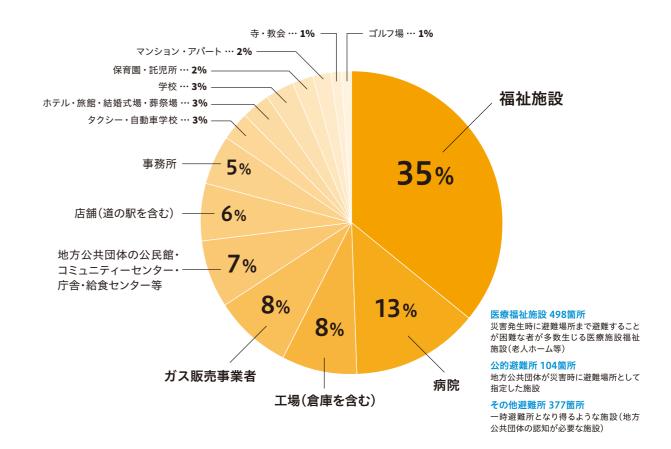
- ① 一申請あたり上限1千万円:バルク、シリンダー容器及び供給設備のみ
- ② 一申請あたり上限5千万円(設置事例)
- 1)バルク、シリンダー容器及び供給設備 + LPガス発電機ユニット(コジェネレーション含む)
- 2)バルク、シリンダー容器及び供給設備 + LPガス空調機器ユニット(GHP他)
- 3)バルク、シリンダー容器及び供給設備 + LPガス燃焼機器ユニット(コジェネレーション、炊き出しセット、コンロ他)
- 4)バルク、シリンダー容器及び供給設備 + LPガス簡易スタンドユニット
- ③一申請あたり上限1億円: ②の1と2を同時に設置する場合



## LPガス災害バルクは 様々なシーンで利用されています

POINT 7

### 平成25~令和2年度災害バルク導入制度における 設置場所(建物用途)別実績



種 別	箇所数
●福祉施設	351
●病院	136
●工場 (倉庫を含む)	82
● ガス販売事業者	81
● 地方公共団体の公民館・コミュニティーセンター・庁舎・給食センター等	74
●店舗(道の駅を含む)	59
●事務所	49
●学校	35
●ホテル・旅館・結婚式場・葬祭場	30
● タクシー・自動車学校	25
●保育園・託児所	22
● マンション・アパート	19
●寺・教会	11
●ゴルフ場	5
合 計	979

例

# 地域住民の命を守る防災拠点 災害時の事業継続と地域の強靭化

### 上松町役場(長野県木曽郡上松町)

#### 平時から備蓄を兼ねてLPガスを有効活用

2021年5月に開庁した上松町役場新庁舎は、町内に分散していた庁舎を統合し70 年ぶりに新しく生まれ変わった。この庁舎は、防災拠点として災害対策本部の運 営、災害対策事務の遂行、業務継続の優先度の高い通常業務等を継続するための 機能、近隣地区住民の一時避難所、また各避難所への炊き出し体制を確立するた めの設備が必要不可欠であるため、平時から備蓄を兼ね有効に活用できるLPガス を採用することを決め、国の補助金を活用して、災害バルク(2.9t)1基と非常用発 電機 (コージェネレーションシステム・200V25kva) 3台を導入した。

#### 設置機器

- バルク貯槽=EBS-2900T (3000kg) ×1
- コージェネレーションシステム=CP25D1Z-TPJG×3







バルク

コージェネレーションシステム

# 西日本豪雨での停電・断水の不便さを痛感。 「災対バルク+GHP+CGS」で 災害時の機能強化を実現

#### 安芸津学校給食センター(広島県東広島市)

#### 灯油からLPガスに燃転

市内4カ所の学校給食センターのうち、設備更新に合わせて、安芸津給食セン ターを灯油からLPガスに初燃転し、CO2削減など市が宣言しているSDGs (持続 可能な開発目標) にも貢献しました。従来の設備では停電時に稼働することがで きなかったため、災害時の停電対策を強化。災対バルクでGHP稼働、CGS (コー ジェネレーション) による発電、給湯が可能。施設内の照明、食材を備蓄するため の冷蔵庫や厨房機器等の稼働用の電力を確保。被災者への温かい食事の提供や スマホ等通信機器の充電などにも利用可能となり、「これまでの設備では対応で きなかった災害時の機能強化しが実現できた。

#### 設置機器

- バルク貯槽=EBS-2900TK (3000kg×1)
- コージェネレーション (CP25D1Z-TPJG×1、GHP (YBZP560J-PB×3)
- 室内機×12







東広島市安芸津学校給食センター

災対バルク EBS-2900TK

ボイラー室



大屋 誠さん

#### バルクとコージェネ導入で災害対応力強化

兼ねてから希望していた72時間稼働できる非常用発電機(コージェネレー ションシステム)を整備したことにより、災害対策本部の設置や近隣住民の一 時的避難場所としての受け入れが可能となりました。災害発生時の初動体制 に速やかに移行することができ、被災状況の確認や情報収集、避難所開設な どの指示伝達がスムーズに行え、災害対応力の向上につながるものと思いま す。今後、防災訓練などを通じていざという時の体制を万全にしていきたいと 考えています。



波谷一宏さん

#### 「災害に対するレジリエンスの向上の必要性」を痛感

市と民間企業の共同出資で設立した当社は市有施設への売電、再生可能エネ ルギー、省エネ設備の導入事業等の一翼を担っています。当センターに災対バ ルクを設置した最大の理由は西日本豪雨(平成30年7月豪雨)。当市は人的被 害、インフラ等の物的被害だけではなく、停電や断水などで市民生活に多大な 影響を及ぼした。特に停電は相当堪え、公共施設における「災害に対するレジ リエンスの向上の必要性」を痛感しました。災害時、当センターは炊き出しを担 う安芸津地区唯一の施設であり、職員等の避難場所でもある。設備更新に合わ せて、停電時にも稼働できるLPガス災対バルク設備の導入を決めました。

# 生徒の安全確保、 質の高い教育環境の整備を実現

### 学校法人鶴岡学園 北海道文教大学附属高等学校(北海道惠庭市)

#### LPG災害バルクと自立式GHPを導入

学校法人鶴岡学園では北海道文教大学附属高等学校の移転改築に伴い、LPG災 害バルクと自立式GHPを導入しました。北海道胆振東部地震時に発生したブラッ クアウトを経験したことにより、計画段階から災害対策機器導入の検討を重ねま した。当初は体育館の冬期暖房は重油式、校舎全体の空調暖房は電気式としてい ましたが、ライフサイクルコスト比較やリスク管理、二酸化炭素排出量削減の観点 より施設全体に電気・ガスによる併用方式を採用しました。補助制度の活用もあり、 生徒の安全確保に加え質の高い教育環境の整備を実現しています。

設置機器

- バルク貯槽=EBS-2900YK (3000kg) ×1
- 発電機 (EU15iGP) ×1 GHP (U-GB560S3SD×1、U-GWX560S3SD×2)











GHP(非常用発電機兼用機)

# 緊急時避難にも活用できる医療施設 BCP対策として災害対策設備導入

#### 医療法人愛生会 外山内科(熊本県人吉市)

#### 停電時の人工透析や照明用電力を確保

医療法人愛生会外山内科では災害時のBCP対策を強化することを目的として、 2021年2月に災害対応バルク、非常用LPガス発電機、停電自立型GHPを設置し た。これまでディーゼル非常用発電機を1台設置していたが、緊急時での対応に不 安を感じていた。今回、非常用発電機の導入により、課題であった停電時の人工 透析や照明用電力が確保できるようになり、平時・有事にかかわらず万全な医療 提供が行える態勢を整えた。バルクと発電機は基礎を1位ほど嵩上げするなど、水 害対策が講じられている。

設置機器

- バルク貯槽 (EBS-980TK×1、EBS-980T×1) 発電機 (LEG-54UST×3)
- GHP (GXYDP710D×1) 室内機×4









鈴木武夫さん

#### 地域に根差した学校組織を目指す

高等学校は建て替えを機に札幌市から、大学施設に隣接する恵庭市への移転 改築としました。今後は以前にも増して地域に根差した学校組織を目指してい く必要があると考えております。そのため、一般住民の避難の役割をもつ施設 として、大規模災害におけるインフラ遮断の際にも稼働可能なGHP空調ステ ムの導入にいたりました。GHPで発電した余剰電力は非常照明や非常コンセ ントに供給できるなど、汎用性が高い点も導入の要因です。避難する生徒や周 辺住民の方々にこの学校にいれば安心であるという環境を提供できればと考 えております。



医療法人愛生会 外山 博之さん

### 態本地震契機に万全の体制構築

設備導入を決めたのは2016年の熊本地震がきっかけです。人吉市では大きな 被害はありませんでしたが、患者さんの命を預かる医療機関にとって水と電気 は必要不可欠であり、災害時の確保が課題でした。2020年の球磨川豪雨水害 で対策を急ぐ必要性を感じ、今回の補助金制度を活用して設備を導入しまし た。今後は地域住民のための避難施設としての体制も整備していく予定です。

例

事例 5

# 「防災部会」を立ち上げ検討。 LPガス選択で「災害に強い病院になった」と実感

# 「体育館を一時避難所として活用できないか」。 「災対バルク+LPガス発電機+GHPIの導入へ

### 社会医療法人清和会・西川病院(島根県浜田市)

#### LPガス導入で燃料劣化、稼働音の問題が解決

当病院は浜田地区において、緊急時対応や緊急入院ができる唯一の精神科救急 医療施設です。機能別に8単位の病棟からなり、患者さまの個別性に合わせた治 療を提供しております。近年、頻発する全国的な自然災害により被災された病院施 設の方々の声を受け、2017年4月、当病院内に防災部会を立ち上げ、施設の防災対 策を考えてきました。LPガス(災対バルク、発電機)にしたことで燃料劣化、稼働 音の問題が解決。残量管理も職員の毎日確認に、ガス会社の遠隔による残量確認 のダブルチェックで「災害に強い病院になった」と実感しています。

#### 設置機器

- バルク貯槽 (EBS-980T·1000kg×1) 発電機 (LEG-54UST×1)
- 灯光器 (RGLX 10S×1) 炊き出しセット((DELI-ST01×2)









発電機(LEG-54UST)

### 社会医療法人清和会・精神科デイケア来夢(島根県浜田市)

#### LPガス設備導入で、「災害時にも活躍出来る体育館 | を実現

当施設は同じくLPガス災害対策設備を導入した西川病院敷地内にあります。同病 院の防災部会で「当施設の2階にある体育館を一時避難所として活用できないか」 と検討していた際、「発電機とともに冷暖房設備の導入が必要」と考えました。体 育館では球技や柔道などを日常的に行っていましたが、冷暖房設備は設置しておら ず、この度の補助金を活用して、発電機とともにGHPを導入し、真夏や真冬でも快 適に運動ができることを実感しました。停電時でも発電機により照明等に電源供 給ができるようになり「災害時にも活躍出来る体育館」になりました。

- バルク貯槽 (EBS-980T・1000kg×1) 発電機 (LEG-9.9USXT×1)
- GHP (YWZP850K1PB×1、YWZP710K1PB×1)
- 室内機×10、灯光器 (RGLX 10S×1) 炊き出しセット (DELI-ST01×2)









精神科デイケア来夢

GHP(YWZP850K1PB, YWZP710K1PB)

災対バルク(EBS-980T)

社会医療法人清和会総務課 宮風呂 和浩さん

#### エネルギー源に災害に強いLPガスを採用

防災部会で最も検討を重ねたのが「停電時の食事の提供方法」。当病院は全 電化厨房のため、当初はデリバリーステーションのみの導入を考えていました が、LPガス会社の紹介で参加した「LPガス発電機セミナー」で、同方法に「電 源の確保|「冷暖房対策|「避難生活を支える体制づくり」についても検討す る必要があると考えました。エネルギー源についても都市ガスの選択肢もあり ましたが、「地震などにより供給が途切れる可能性がある」との判断からLPガ スに決め、患者さま、職員に、将来的には地域の避難施設として機能させるた めに、補助金を活用してLPガス災害対策設備を導入しました。

#### 平時でもGHPは大活躍

ガス会社主催の「LPガス発電機セミナー」に参加し、その内容を受けて、体育館を一時避難所として活用す るためには、「災害に強いエネルギーであるLPガスの備蓄」「電源の確保」「冷暖房の確保」「調理・炊き 出し」ができる環境が必須ということを再認識しました。体育館には発電機とともに冷暖房設備の導入を検 討していましたが、たくさんメリットのあるGHPも補助対象と知り、補助金を活用して導入しました。災対バ ルク等設備一式は施設利用者、病院入院患者、職員に将来的には地域住民の方々の避難所として快適に過 ごして頂くため導入しましたが、今では平時でもGHPは大活躍しています。

例

## LPガス機器でBCP対策を万全に 空調設備の劣化を契機に

#### 社会福祉法人スマイル・特別養護老人ホーム スマイル(大阪府羽曳野市)

#### LPガスで非常用発電機が利用できる

社会福祉法人スマイルの特別養護老人ホームには約100人が入居している。空調 設備はLPガス仕様のGHPを採用していたが、施設の建設から18年が経過し、空 調設備が劣化してきたことからGHPにするか電気エアコンに変更するか検討して いた。関係先から災害バルク補助金のことを聞き、LPガスで非常用発電機が利用 できることがわかった。災害バルク、GHP、非常用発電機を導入し、BCP対策を万 全にすることができた。羽曳野市の福祉避難所に認定されており、災害時には周 辺地域の高齢者らを受け入れる。

#### 設置機器

- 地下埋設式バルク貯槽 (CK-LIFELINE-30UG)
- 非常用発電機 (SGS60K×1、SGS8100BT-S×1)
- GHP (AWYGP560G1ZD×5、AWYGP450G1ZD×7)



特別養護老人ホームスマイル



非常用発電機は2台設置



屋上に設置したGHP 12台

# コストを差し引いても 災害時の緊急対応は高水準

株式会社Human-system Japan サービス付高齢者向け住宅フルハウス手稲駅前(北海道札幌市)

#### 災害時3日間程度の電源を確保

サービス付き高齢者向け住宅フルハウス手稲駅前を運営する株式会社Humansystem Japanは、北海道にてグループホームや高齢者向け住宅といった介護・福祉 事業を行っている。これまで経営してきた中で地震災害等による停電があったこと もあり、災害対応バルクを導入する事となった。高齢者向け住宅という事もあり、携 帯型酸素供給機を利用されている方もおり非常時の停電等の影響は大きく、土地柄 寒暖差も激しいため、空調設備の維持は必要であった。今回導入した機器により災 害時3日間程度の電源確保が可能となり、利用者の安全を確保することが出来た。

#### 設置機器

- GHP (GRYJP850DPE×1、GXYKP850DE×2) 発電機 (LEG-40SSGF) ×1
- バルク貯槽 JHS10C (1000kg) ×1 室内機×69、投光器 (ML801) ×1





GHP(GRY)P850DPE・GXYKP850DE) LPガス発電機(LEG-40SSGF)







社会福祉法人スマイル・ 特別養護老人ホームスマイル 施設長

富久 幸成 さん

### 分散型エネルギーの安心感

施設の立地から水害で被災することは考えにくいですが、地震が心配です。LP ガスは分散型エネルギーであるため、都市ガスに比べて災害に強いことは知っ ていましたが、災害バルク補助金を利用し、GHPと非常用発電機を導入したこ とで、災害時にライフラインが絶たれても食料と飲料水は確保していますので 電気や空調も使え、食事も提供でき、最低3日分と言われています生活は可能 ですので、大きな安心感を得ています。



株式会社Human-system Japan 代表取締役

上野貴さん

### 施設利用者へ安心安全なサービスを提供

昨今、日本は地震大国という事もあり各地での地震災害が散見されている。 災害対策については介護福祉業界についても確固たる施策を打ち出す必要性 があると常々考えていた。対策をする上でネックとなるのが予算に係る部分で あったが、今回の補助金は施設利用者様へ安心安全なサービスを提供してい く為に大変有効に活用することが出来た。勿論、維持管理にかかるコストは 発生していくが、そのコストを差し引いても災害時の緊急対応をかなりの高水 準で行うことが出来、安全な住宅を提供するというかけがえのないものを得 ることが出来たのは大きなメリットでした。

# 災害時に避難場所を 提供する可能性が拡がる

### 学校法人内木学園 認定こども園第二薬師寺幼稚園(栃木県下野市)

#### 地域貢献の意味で、大きな意義

東日本大震災の当日、停電して明かりもなく、暖も取れない状態で園児と児童が 園外で保護者の迎えを待っている状態でした。当時は園バスのヘッドライトで照ら し、照明の代わりにしていましたが、暖房設備はありませんでした。当園の地域に おける役割として、災害時の一時避難場所の提供の役割も担っているので、園児 や児童の安心を確保するとともに、地域の方にも災害時に避難場所を提供できる 可能性が拡がり、災害バルク、非常用発電機等の設置は、園関係者の安心安全の 確保と地域貢献の意味で、大きな意義を感じています。

#### 設置機器

- シリンダー (50kg容器) ×6 GHP (U-GB560S3SDR) ×1
- 室内機×5 発電機 (EU9iGP)×1



シリンダー(50kg容器)×6



GHP(U-GB560S3SDR)



自立運転用スイッチ盤



GHP用発電切替盤

# 導入したLPガス設備は快適 補助金制度も導入の後押しに

#### 児童発達支援センターひまわり 社会福祉法人いずみ会(山梨県山梨市)

#### 災害時にも空調設備が利用でき安心感

いずみ会が運営する児童発達支援センターひまわりは2002年、峡東地域で初めて設置された障害者通園施設。園舎は建設から20年経過し老朽化が進んできたことから、補助金を活用し新たな空調設備を整備することとなった。障害のある子どものなかには、体温調節が難しい子どももいるため、災害時にも発電機で電気が確保でき、空調設備が利用できることは安心感があるという。

#### 設置機器

- GHP (U-GH560T1DR×1、U-GH280T1DR×1)
- LPガス発電機 (GENERAC 8KVA6269×1、EH-550S×1)
- シリンダー50kg容器×16本



いずみ会ひまわり外観



LPガス発電機



GHP



理事長 **内木 秀雄**さん

#### 子どもの安全・安心のために

設置前は災害発生時の具体的な避難生活について、非現実的な避難生活の確保しか想定できなかったが、導入に伴い基本的なライフラインが確保できることにより、照明や冷暖房のみにとどまらず、ネット環境を確保できる可能性もあるので、園からの保護者向けての避難中預かりしている園児、児童の情報提供も可能となると想定されるので、災害発生時の具体的な対応が想定できるようになり、職員の災害時における現実的なシミュレーションが可能になり、個々の意識向上に繋がりました。子どもの安全・安心のために設備の充実を図る事ができ、保護者共々、喜んでおります。



社会福祉法人いずみ会 ひまわり/園長 **飯室 智恵子**さん

### 利用者も職員にも好評、補助金に感謝

以前は空調設備の不調が多かったのですが、LPガス空調設備導入後は安定した使用ができるため利用者や職員にも好評です。まだ精査できていないもののコストは下がっている感じです。補助金を活用したことで、大きな費用負担となる設備更新を決断することができ感謝しています。合わせて、災害時にも対応できる施設整備ができたことも成果となったと考えています。

# LPガスの強靭性、災害対応力に注目 災害に対する意識が大幅アップ

#### 株式会社CISリネン(静岡県浜松市)

### メンテナンスフリーが最大の特長

CISリネンは、寝具打ち直し加工業として昭和61年に創業。レンタルおむつ業務や リネン全般にも進出し、業務を拡大してきた。東日本大震災で実証されたLPガス の強靭性と、災害初期対応用として十分な供給能力に着目し、LPガス仕様の非常 用発電機を導入することとなった。経年劣化しないLPガスと黒煙を出さないメン テナンスフリーの非常用発電機が災害時に必ず役立ってくれると確信しての採用 だった。導入後、災害に対する意識が大幅に高まった。

- バルク貯槽JUS29N3 (3000kg) ×1 LPガス発電機 (SG-150 200kW仕様)×1
- 投光器 (LWY 45B) ×3 ガスストーブ (R-852PMSIII(C)-LP) ×2
- 鋳物コンロ (SB-202)×2





LPガス非常用発電機

災害用バルク

# 災害時に被災者受入れで地域貢献 停電自立型GHPを導入

#### 圓性寺(熊本県天草市)

#### 庫裡に100~150人程度が収容可能

島原の乱後の1640年代に創建されたといわれる圓性寺。高台に立地することか ら、過去には1972年(昭和47年)の天草大水害など、自然災害が起こった際の避 難所として、被災者の受け入れ協力を積極的に行ってきた。本堂右横にある庫裡 には、100~150人程度が収容可能であり、米や飲料水なども備蓄している。

当寺院では、被災者が避難しても困ることのないよう、この度、災害バルクの助成 制度を活用し、万一の停電時にも使用が可能な停電自立型LPガス用GHPを導入 した。空調だけではなく、炊き出しも利用ができるよう、業務用ガスコンロや業務 用ガス炊飯器も備えている。

- シリンダー (50kg容器×8) 停電自立型GHP (YBZP560J-PB×1)







過去の災害時にも多くの被災者を受け入れてきた

停電自立型GHPは20馬力1台



堂所 学さん

#### もしもの時の地域貢献に向けて

地震、台風、水害など、我が国において近年大きな災害が頻発しています。い つどこで大きな災害が発生しても不思議ではない状況下で、災害に対し備えを 怠らないことは、地方自治体だけでなく、日本に住む我々一人ひとりにとって 大きな課題ではないでしょうか。災害に見舞われてから後悔しないよう、「備 え」を日頃から行う必要性を強く感じています。創業以来、浜松の地で事業を 支えていただいた社員とその家族を守り、お取引先さまや、地域住民の方々に 貢献したいと考えています。



寺族 石原 史博 さん

#### LPガスを利用できる災害時避難所に

災害が発生するといちばん問題となるのは、電源と水の確保です。電気だけに 依存することは、万一の停電時を考えると不安があります。電気に加えLPガス を備えておくことで、空調もできるし温かい食事も取ることができるなど、災害 時の対応がより万全なものとなります。当寺院では、自治体とも連携し、災害 に強いエネルギー・LPガスを利用できる"災害時避難所"として、今後も地域社 会に貢献してまいります。

例

例 13

# 災害時にも充電出来る環境を構築 地域住民の生命維持にも貢献

#### ドコモショップ気仙沼店(宮城県気仙沼市)

#### 万が一の停電に備え、充電サービスを提供

通信機器販売に携わる企業として万が一の停電に備えて地域住民の皆さまに対す る充電サービスを提供することは非常に重要だと認識しております。生活必需品で ある携帯電話の利用において災害時にも充電出来る環境を構築することも弊社の 使命と考えております。それに加えてGHP導入による冷暖房の供給に関しても災害 時にご自宅や職場で冷暖房が使用出来なくなってしまった地域住民の皆さまの生 命の維持にも貢献できるとの想いで今回の導入に至りました。また助成金の活用 が出来たことも今回の設備導入を後押ししてくれた大きなきっかけとなりました。

#### 設置機器

- バルク貯槽 (SKC-500B 500kg×1) 発電機 (SGS-8000BT×1)
- GHP (AXYGP850F2Z×1) 室内機×5





GHP(AXYGP850F2Z×1)



発電機(SGS-8000BT×1)

# エコステーションに自家発電機導入 停電時でもLPG車に充填可能に

#### 東邦液化ガス 桜田エコ・ステーション(愛知県名古屋市)

#### 老朽化でLPガス仕様発電機に更新

既設のディーゼル発電機が経年で老朽化したため、更新の検討を行っていたが、 折しもエルピーガス振興センターの補助金募集を知り申請した。従来は高圧ガス 保安法の規定で、散水ポンプを稼働する目的のみに限定されていたが、今回、LP ガス仕様の非常用発電機の導入を機に、万一の停電時でもLPG車への燃料ガス 充填が行える仕様に変更することで、防災対策の強化を図った。発災時には、① ローリー車の受入れ②ローリー車への散水③LPG車へのガス充填、のいずれか1 つに対応が可能である。

● LPガス発電機 (デンヨー製54kVA、43.2kW) タイプ×1



桜田エコ・ステーション



LPガス非常用発電機



株式会社モトキ 代表取締役社長 本木 拓也さん

#### 支援を必要とする全ての方々に貢献

弊社は気仙沼市内で20余年ドコモショップを運営しております。2011年3月に 発生した東日本大震災ではライフラインが途絶える重大な危機に直面しまし た。今回の設備導入によってガス供給会社様との連携により、災害発生から最 低3日間のGHP冷暖房の継続、その後の公助による救援までの間、そして真夏 の酷暑対策、真冬の極寒対策を可能とするだけで無く、気仙沼市と連携する ことで万が一の避難場所としても活用出来るように整備しております。支援を 必要とする全ての方々への生命維持に貢献出来れば幸いと考えております。



東邦液化ガス株式会社 都市•産業営業部 服部 康利さん

#### 災害時には緊急車両に優先活用

LPガス非常用発電機は令和3年1月末に設置した。当・桜田エコ・ステーション は1988年(昭和63年)の運用開始以来30有余年の歴史をもつ。24時間稼働 で、一日に1000台以上のLPG車がオートガスを充填するが、災害時には、緊 急車両(ガス漏れ修理等の社有車、愛知県とタクシー協会との災害協定に基 づき被災者等を搬送するタクシー等)に優先活用する。今後は万一の停電時 を想定した発電機の稼働訓練を1回/年、定期的に実施していく。

